

平成23年1月12日

福島県立医科大学附属病院における年末年始期間中の 救急患者取扱状況について

年末年始期間中に本院の救命救急センター外来で診療を受けられた患者さんの状況については以下のとおりです。

【救命救急センター外来を利用された患者数】

12月29日から1月3日の年末年始期間中に本院の救命救急センター外来を利用された患者さんは合計で559人、1日平均93.2人となっています。うち救急車（ヘリを含む。）で搬送された患者さんは40人、1日平均で6.7人でした。これは前年の年末年始期間より104人（1日平均17.4人）、救急車搬送人数では12人多くなりました。

なお、年末年始期間中のドクターヘリの出動件数は4件（現場出動3件、転院搬送1件）で、このうち本院への搬送件数は1件でした。（前年同期の出動件数は3件、うち本院への搬送件数は1件）

○救急救命センター外来利用患者数

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	63	94	113	77	89	123	559	93.2
うち救急車搬送	4	7	5	7	4	13	40	6.7
うちその他	59	87	108	70	85	110	519	86.5

【年末年始の救命救急センター外来の運営体制】

センター医師の勤務体制は、日勤帯は救急科医師・政策医療等支援医・研修医・輪番制医師各1名の計4名、夜勤帯は救急科医師・政策医療等支援医・輪番制医師各1名の計3名体制で行っています。また他に、内科系、外科系で1科ずつの輪番制による新患者向けの応援体制を築いているとともに、各診療科では重症患者に対し、専門医が駆けつけることができるようバックアップ体制を敷いています。

一方、看護体制においても、処置、点滴注射は、救急センターの場所だけでは対応不可能な場合、一時的に病棟のベッド等を借りて対応しています。また、12月29日～1月3日までは日勤4名、準夜勤4名、夜勤3名を配置し来院患者の診療処置、看護に当たっています。

検査、薬についても、24時間体制で放射線技師、検査技師、薬剤師が対応しています。

（担当 病院経営課 病院企画係）

【参考】

・診療科別の状況

診療科別の来院患者は救急科が 117 人で最も多く、次いで眼科が 55 人、産科婦人科が 49 人となっています。

・過去の状況

○平成19年度

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	61	89	128	95	103	95	571	95.2
うち救急車搬送	1	4	4	2	3	3	17	2.8
うちその他	60	85	124	93	100	92	554	92.3

	年間		
	1日平均	診療日平均	休診日平均
患者数	39.0	23.6	69.8
うち救急車搬送	3.9	4.2	3.1
うちその他	35.1	19.4	66.7

○平成20年度

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	121	136	129	114	128	122	750	125.0
うち救急車搬送	5	5	3	7	3	3	26	4.3
うちその他	116	131	126	107	125	119	724	120.7

	年間		
	1日平均	診療日平均	休診日平均
患者数	37.3	22.1	67.6
うち救急車搬送	3.8	3.8	4.0
うちその他	11.5	18.4	63.7

○平成21年度

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	65	93	92	70	66	69	455	75.8
うち救急車搬送	7	9	0	5	3	4	28	4.7
うちその他	58	84	92	65	63	65	427	71.2

	年間		
	1日平均	診療日平均	休診日平均
患者数	39.5	34.7	49.1
うち救急車搬送	4.1	4.0	4.2
うちその他	35.5	30.7	44.9